

# 新千里東町地域自治協議会 2012 年度総会議事録

1. 開催日時 2013年5月19日(日) 13:30～14:30
2. 開催場所 新千里東町会館2階会議室
3. 出席者数 代議員総数37名中27名出席(うち委任状による出席者数10名)

## 4. 開会宣言

新千里東町地域自治協議会(以下、協議会と記す)司会の事務局長武藤正治氏から、協議会2012年度総会の開会宣言があった。

また、規約第20条により総会は代議員の過半数の出席により成立することとされており、本日、出席ないし委任状提出数は27、代議員総数が37であるから、本総会は成立している旨報告があった。

## 5. 開会に当たり会長あいさつ

総会開催に当たりご挨拶申し上げます。

平成24年4月22日に「新千里東町地域自治協議会」が設立され、地域の状況を一步でも前に進めたいとこの1年必死に取り組んでまいりました。

特に、東町の将来像、即ち、ビジョンを描き、それを実現するための課題をみんなが共有することにこだわってやってきました。

協議会としては、連絡調整機関でなく、協議機関としてスタートしましたが、まだまだ地域コミュニティの現状とその将来への展望ではかなりの落差があると感じています。

協議会としては、東町の代表制による担保という形の中で、住民の声を生かすような活動機能を設計しましたが、実情はかなり課題がありました。その中で、

①協議会への多くの参画者は、男性高齢者と専業主婦が中心という限定されており、しかも、その参画者の通常の協力範囲を超えた負担の上に成り立っている。

②地域の「現場への分権化」の行政との関係についても、自治体行政機構の分野別の縦割り型としか東町として認識できず、つまり脱皮されておらず、行政機構を活用できていない。

今後の協議会運営を上記2点に反映させ、東町のコミュニティ活動をより発展させていくことを祈念し、開会の挨拶の言葉とさせていただきます。

## 6. 議長の選任

司会より、議長の選任について自薦・他薦を求めた後、事務局から適任者を推薦したい旨提案があり、承認を得た後、事務局から推薦のあった瀧瀬庸仁氏が選任された。

## 7. 議事録署名人の選任

引き続き、司会より、議事録署名人2名の選任について自薦・他薦を求めた後、事務局から推薦したい旨提案があり、承認を得た後、事務局から推薦のあった吉山妙子氏、坂上喜代子氏の両名が選任された。

## 8. 議事 (1) 第1号議案：2012年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告承認の件

第1号議案について、上田副会長より事業報告を、清水会計より収支決算報告を続けて説明の後、高野監事より監査結果報告がなされ、議長より質疑を求めたが特段の質問がなかったため、議長から本議案について承認手続きを行いたい、異議がなければ拍手で承認頂きたい旨提案があった。出席代議員の拍手多数により承認された。

## 議事 (2) 第2号議案：規約改正(理事および代議員の選出団体の追加等)の件

第2号議案について、上田副会長より説明があり、議長より質疑を求めたが特段の質問がなかったため、承認手続きを行いたい旨提案があり、出席代議員の拍手多数により承認された。

議事(3) 第3号議案：2013年度事業計画及び収支予算案承認の件

第3号議案について河野会長より事業計画、清水会計より収支予算案の説明があり、議長から質疑を求めたところ、次の質疑応答があった。

質問1：市からの補助金に関して予算に対し、消費額が少ないが、その理由は。

答弁：予算設定時にはいろいろ計画したが、実行できた事業が少なく費用も一部しか支出しなかった。残余の金額は市に返納した。

質問2：東丘小学校の芝生化事業の支出があるが、本事業はいつからスタートしたのか。

答弁：一昨年からスタートした。

質問3：市からの補助金について東町サロン計画に150万円程の予算が計上されている。

答弁：本年度の重点事業であり、上期に検討し、下期から実施する計画である。予算はそれに必要な金額を織り込んでいる。

- 議長から、質疑が終了したので、本議案について承認手続きを行いたい、異議がなければ拍手で承認頂きたいと提案があり、出席代議員の拍手多数により承認された。

議事(4) 第4号議案：2013年度協議会役員改選の件

第4号議案について河野会長より提案説明があり、議長より質疑を求めたが特段の質問がなかったため、承認手続きを行いたい旨提案があり、出席代議員の拍手多数により承認された。

その後、新役員及び監事よりそれぞれ就任に当たり抱負がのべられた。

小川会長：東町の活動諸団体についてその存在が分からない、或いは疎外感を感じてきた人もいる。私自身は親の世代からここに住んできたが、その間に、高層住宅への建替えが進み、疎外感を高める人も現れ、ここ最近、孤独死が2件発生した。そういう人が出ないような活動が求められている。また、東南海トラフの変動による大地震が予測されているが、どこにどのような人がいるか分からない中で、ママ友などいろいろな層が集い、交わり、分かりあう機会を作っていくことでお互いの信頼と協力が深まると思われる。孤独死問題も含め、私たちは、次世代につなげていく役目を負っていると考えて取り組みたい。

濱中副会長：この町に22～23年住んでいるが、分からないことが多い。何が出来るか分からないが精一杯取り組みたい。

森副会長：私はこの町に転勤してきたばかりだが良い町だと感じた。まちづくり部会に参加し、部会長を引き受けることとなった。できることからやって行きたい。

赤井副会長：ダデーイズを代表して参加した。この町に44年間何の不自由もなく住んでいる。住んで良かったからこの町にいる。今までやってきたことを継承することも大事であるが、今までやって来れなかったことに手をつけるべき、特に、防災対策が重要。もし、大地震が平日の日中に発生したらと考えると、この町の人はその時いろんな離れた場所にいる。一番に作るべきものは防災組織であると考えます。

河野会計：高齢化、独居がますます増える中で、3-3シニアクラブが総会を経て誕生した。大地震が日中発生した場合はシニアクラブの活動が求められる。自治会の活性化と合わせて取り組んで行きたい。

清水会計：前年度は協議会発足初年度ということもあり、あっという間に1年が過ぎた感がある。今年はいわゆる計業務をしっかりとやって次の代に引き継げるようにしたい。

上田監事：協議会立ち上げ直後のため不備もあった。この1年間監事として役員の業務を補って行きたい。

大路監事：昨年度衣替えた組織であり、今が基盤作りの時期。新理事には規約をしっかりと読んで頂きたい。

監事として規約に則った運営がなされるよう協力して行きたい。

10. 議長退任の挨拶

議長より、以上により予定された全議案の審議が終了したので、これをもって議長の任務を終え、退任させていただきますと、挨拶があった。

11. 閉会の宣言

事務局長武藤正治氏より、以上をもって2012年度総会を終了する。なお、引き続き第1回理事会を開催するので、新役員、理事各位はこのまま待機願いたい旨、閉会挨拶と説明があった。

2013年5月19日

大阪府豊中市新千里東町3丁目1番の1

新千里東町地域自治協議会

総会議長 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印

議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印